



1983/12 NO. 179



踏みしめる一世紀 明日へのダッシュ

置県百年のシンボルマーク



一日所長のみなさんから多くの意見が出された知事との懇談会

一日所長のみなさん

(敬称略)

- | | | |
|------------|----------------|------|
| 高岡県税事務所長 | 久々江美子 | 子義博子 |
| 魚津県税事務所長 | 野田垣西下美昌 | 美昌 |
| 消防学校長 | 館塚大小山富寿正 | 富寿正 |
| 中部社会福祉事務所長 | 久野田垣西下浦内正道 | 正道 |
| 西部社会福祉事務所長 | 久野田垣西下浦内水村道教 | 道教 |
| 流杉老人ホーム所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道芳 | 道芳 |
| 高志学園長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道美 | 道美 |
| 氷見保健所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道文 | 道文 |
| 衛生研究所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道喜 | 道喜 |
| 工業試験場長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道心 | 道心 |
| 計量検定所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道美 | 道美 |
| 職業訓練センター所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道智 | 道智 |
| 農業試験場長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道代 | 道代 |
| 食品研究所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道郎 | 道郎 |
| 砺波農業改良普及所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道子 | 道子 |
| 畜畜試験場長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道静 | 道静 |
| 栽培漁業センター所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道幸 | 道幸 |
| 入善土木事務所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道八 | 道八 |
| 小矢部土木事務所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道衛 | 道衛 |
| 高岡農地林務事務所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道子 | 道子 |
| 林業試験場長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道静 | 道静 |
| 木材試験場長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道幸 | 道幸 |
| 消費生活センター所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道八 | 道八 |
| 黒部青少年の家所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道衛 | 道衛 |
| 公害センター所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道子 | 道子 |
| 呉羽少年自然の家所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道静 | 道静 |
| 県立近代美術館長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道幸 | 道幸 |
| 小矢部川発電管理所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道八 | 道八 |
| 県民福祉公園事務所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道衛 | 道衛 |
| 健康増進センター所長 | 久野田垣西下浦内水村藤村道子 | 道子 |

一日所長を 経験して

県民のみなさんに直接県の行政にタッチしていただくことにより、より一層県政に対する理解を深めていただくこと、十月二十六日に「一日所長」が県の出先機関三十カ所で行われました。そして、十一月四日にはこれらの一日所長のみなさんと知事との懇談会が開催され、一日所長のみなさんから多くの建設的な意見や提言が出され、それに対して中沖知事が答えました。この懇談会の要旨を紹介します。

表紙絵 富山の四季⑨ 「井波」

田 淵 俊 夫 作
1980年
紙本・彩色
72.6センチ×116.7センチ

「その日の空は曇っていた。冬場はスキー場になる小高い丘の中腹に立つと、眼下に井波の盆地が広がってみえた。時折、粉雪がばらつくこともあったが、地平線真近まで、雪に蔽われた樹々や人家をはっきりこの眼でとらえることができた。」

白一色の広大な大地には、いわゆる散居村が散在してみえた。奥へ奥へと限りなく広がる空間が、不思議に私を魅了した。こんな風景を、それまで一度も見ることがなかった。制作のモチーフラしきものが、一瞬脳裡をかすめた。この丘からの眺望を描くことを、私は心に決めたのである。」(本年十月三十一日談・文責筆者)



雪の井波町を描く田淵氏

作品「井波」の制作意図を、作者はみずからこう語った。東京生まれの作者にとって、雪はけっして暗うつなものではない。幼年期以来、雪は世界を一変させる魔法でさえあった。

画面の雪景色には、現代の生活を想わせるものも見られない。雪は地上のすべてのものを蔽い隠す。音や時間の観念をさえ、かき消してしまったかのようだ。

作者は、画面に古代への幻想を重ねあわせて描いている。万葉の歌人、大伴家持にあらがっていた作者は、上古への夢をいだきつつ、未知の土地、越中へ取材に来たと話している。「井波」

の吸い込まれそうな深遠な空間の彼方には、いまま万葉の世界が息づいている。

作者田淵俊夫は、昭和十六年生まれ。日本美術院に所属している。(県立近代美術館 主任学芸員 太田将勝)

12月号	富山の四季⑨「井波」	表1・2	トピックス・県政のうごき	22~23
●	一日所長を経験して	1~5	お知らせ・お茶の間にお届けします県広報	24
も	飼料自給率の向上をめざして	6~7	秋の越中路に繰り広げられた駅伝ドラマ	表3
く	ご存じですか!もう1つの「3ない運動」	8	この冬、白銀のユートピアへ	
じ	活力ある富山県づくりをめざして③	9~20	一立山山麓県営ゴンドラスキー場	表4
	ちょっとした工夫で快適な冬を	21		

事務の合理化を

◇県税事務所

○課税や収納事務に携っている職員が、県税事務所の仕事は地味な仕事ですが、県税は県の仕事を進めるうえで基礎となるわけですから、非常に重視しています。また、事務の電算化については、現在、既に自動車税などで行われていますが、今後は財務会計制度の電算化をユニークな形でやりたいと考え、現在進めているところです。



一日所長の辞令を中沖知事から交付

◇消防学校

○消防職員や消防団員が厳しい訓練や教育を受けているのを見て感嘆しました。

知事 消防学校は防災、災害対策を行う職員を養成するわけですから、厳しい訓練を受けてもらわなければならないと思っています。

受ける側に立った福祉を

◇社会福祉事務所

○福祉行政が末端まで行き届いている現状を知り、今後地域福祉のために一日所長で知り得たことを参考に貢献したいと思つています。

知事 私は福祉というのは地域、



レーンジャー部隊の訓練を見学する一日消防学校長

施設、家庭のみんなが力を合わせて進めるといのが根本だと思っています。

また、福祉というのは心の問題であると考えていますので、心の通った仕事を行ってきたいと思っています。

◇流杉老人ホーム

○今後ますます高齢化社会になってくると考えられますので、現在の施設では対応しにくいのではないのでしょうか。

知事 流杉老人ホームについて

は、施設面で若干古い面もありますが、また、今後の高齢化社会では痴呆性老人対策が大きな問題となってきますので、県としては流杉老人ホームを痴呆性老人対策の面からの整備をも進めていかなければならないと思っています。

◇高志学園

○高志学園をはじめとする社会福祉総合センターの各施設の内容を広く県民のみなさんにPRしてほしいと感じました。

知事 高志学園については、

来年の秋にリハビリ専門病院が隣



接して竣工し、この地区が身体障害者のみなさんにとって一大福祉センターになります。

しかし、この施設が閉鎖的になるのではなく、地域のみならずと交流するなど開かれた福祉施設にすることが大切だと思っています。そのためにも十分PRしていきたいと思っています。

横の連携を

密に

◇氷見保健所

○県の行政全般が横の連携を密にすれば、重複した仕事もすることなく、サービスを受ける住民の側も楽になるのではないのでしょうか。

知事 おっしゃる通りだと思

います。各部門がバラバラに行つて、住民のみなさんがお困りになることがあってはいけませんので、今後とも総合化、連携化に努力したいと思います。

◇衛生研究所

これまで衛生研究所という名



決裁書類に目を通す一日所長（公害センター）

衛生研究所で動物実験を見学する一日所長



お年寄りのみなさんの誕生会に出席し、誕生日を迎えたみなさんにお祝いの品を贈る一日流杉老人ホーム所長

称すら知りませんでしたが、研究施設がよく整備されているのに驚きました。

私は、地域を開発するためには優秀な人材を集めなければならぬと思っていますので、今後も優秀な人材を集めたいと思っています。

もっと設備の充実を

◇工業試験場

○老朽施設に多くの設備が所狭

しと置かれていますので、これから建設される工業技術センター

◇計量検定所

○検定所の仕事は日常生活に密着しており、私たちが安心して

るの早期完成によって、一層充実されることを望みます。

知事 高岡の二上地区に工業技術センターを建設する予定ですが、日本海側随一になるよう、りっぱな施設にしたいと思っています。



ガスメーター機の検査に立ち合う一日計量検定所長



林業試験場の場内を視察する一日場長

生活を送れるのはこの機関のおかげであると感じました。

ことですから、計量検定所は重要な機関だと思っています。今後、設備の充実を検討したいと思っています。

ニーズに合った職業訓練を

◇職業訓練センター

○今後も、社会のニーズにあわせた職業訓練とするための努力をしてほしいと思います。

知事 職業訓練センターについては、新しい機械なども導入しては、

て内容も充実していますし、職員についても海外研修の機会なども与えています。今後も、新しい技術、技能に対応できるように努力していきたいと考えています。

今後の活動を期待

◇食品研究所

非常に立派な施設ができて喜ばしく思います。今後の活動を期待します。

知事 食品研究所については、農林水産品の付加価値を高め、もっともわかる第一次産業にする必要があると思っています。これからは食品に対する嗜好が広がってきますので、大きく伸びる分野だと思っています。みなさんもPRをお願いします。

◇畜産試験場

○施設の老朽化が目立っており、拡充整備について検討すべきじゃないでしょうか。

知事 ご指摘のとおりだいが古くなりましたので、造り直す計画をもっています。

◇林業試験場

○地道で長期間にわたる各種の試験研究が大変なものであることがわかりました。

もっとPRが必要

◇木材試験場

○日本古来の木材の特色、加工技術の利用について住民がもっと関心を持つようPRすべきだと感じました。

○公害行政は、国、県、市町村の仕事であると当然のように思われていますが、もっと個人や地域ぐるみで協力する必要があると感じました。

◇消費生活センター

○サラ金相談の実態を見てびっくりしました。

○もっと県民の理解を得られるようPRをしていただきたい。

◇黒部青少年の家

○研修生が明るく元気に活動する姿に感動しました。この施設ももっと私たちが利用すべきだと思います。

○婦人の集団検診の現場を見て、検診の重要性を再認識するとともに、今後、婦人会活動で集団検診や健康増進の必要性をPRしていきたいと思っています。

◇公害センター

みなさんの活用を

知事 たいへん短い時間の中で、非常に良い意見をたくさんいただきました。これらの意見が県政に反映されるよう努力していきたいと思っています。

なお、私はみなさんが所長になられた施設をはじめ、現在

▲牛の人工授精の説明をうける一日畜産試験場長



職業訓練に励むみなさんにいろいろと質問（職業訓練センター）



▶うどんの製造実験を見学（食品研究所）

飼料自給率の向上をめざして

乳用牛や肉用牛は、草を食べ、これを乳や肉にかえる家畜ですが、従来、富山県の畜産は水稲単作農業が中心で、飼料基盤をもたない厳しい制約の中で営まれてきたため、購入した穀物や乾草で飼う加工畜産が主流を占めてきました。
しかし、水田利用再編対策を契機に、基盤整備された水田に大型の飼料作物栽培機械を導入し、効率よく飼料作物栽培ができるようになり、飼料を自給しながら牛乳や牛肉を生産する道が開けてきました。
この結果、昭和五十三年以降順調に栽培面積が拡大し、昨年度は千八百二十

に達しました。
また、これ以外に稲わら回収や野草利用面積が千六百八十

飼料作物栽培面積の拡大

富山県の飼料作物栽培の基盤は転作田が全体の七〇を占めています。この転作田を長期安定的に確保するため、農用地利用増進事業の積極的な取り組みが必要です。
また、麦跡地を利用し、トウモロコシ、ソルガム、ローズグラスなどの栽培を進めなければなりません。
特に、麦跡地はは場が集団化

農地の高度利用

飼料作物栽培は夏作千七十に対して、裏作四百十、周年利用は三百二十に過ぎません。
このため、トウモロコシとイタリアンライグラスの二毛作体系を確立するとともに、水田裏作のイタリアンライグラス栽培の一層の拡大が必要です。
そして、転作田の利用や水田裏作の栽培にあたっては、土地



大型機械によるトウモロコシの刈り取り

生産性の向上

昭和五十三年以降、水田転作面積の拡大に伴って飼料作物栽培が急増した結果、水田転作畑での栽培技術の未確立や農家の技術較差が大きいなど飼料作物の生産性は必ずしも高いとはいえません。
昭和五十三年以降、水田転作面積の拡大に伴って飼料作物栽培が急増した結果、水田転作畑での栽培技術の未確立や農家の技術較差が大きいなど飼料作物の生産性は必ずしも高いとはいえません。
最近では、このホールクロップサイレイジの導入によって濃厚飼料を節減し、生産コストの低減に成果を上げている先進的農家も現われています。

※ ホールクロップサイレイジ
穀物の実を密封して発酵させたエサ



里山を利用した放牧

飼料基盤の整備強化

わが国の酪農や肉用牛経営がEC並の価格を目標に生産コストの低減をせまられている今日、自給飼料の生産拡大には経営の存在は考えられません。
このため、地域農業の中で、



ホールクロップサイレイジを生産するための近代的なサイロ

ご存じですか！もう「三ない運動」



「飲んだら乗らない」「乗るなら飲まない」「乗るなら飲ませない」
これは、飲酒運転を追放するための交通安全キャンペーンの一つですが、もう一つの「三ない運動」があります。

それは明るい選挙を実現するためのもので、選挙に関する金品は「贈らない」「求めない」「受けとらない」です。この三つを實踐して、お金のかわらない、きれいな選挙を実現したいものです。

お金をかけない選挙

選挙にお金がかかりすぎると言われていますが、その一端は、私たちが権者側にもあるのではないのでしょうか。

お祭りや旅行、その他いろいろの会合に、政治家や候補者に寄付などをねだることはありませんか。

公職選挙法では「お金のかわらない選挙」を実現するために公職にある人や候補者または候補者になろうとする人が、選挙

区内の人に選挙の有る無しにかかわらず、また、どのような名義にせよ寄付をしてはいけないことになっていきます。

また、これらの人に対して寄付を求めることも禁止されています。

こんなことは禁止

寄付には、次のような通常一般に社交として行われているものも含まれていますので注意が必要です。

○ お歳暮、結婚祝いや出産祝

いなどに金品を贈ること。

○ お祭りや集会などに飲物や食事を届けたりすること。

○ 開店祝いや落成式の花輪やお葬式に香典を贈ること。

○ 町内会などの団体旅行の際、せんべつや飲食物を差し入れたりすること。

政治や選挙をきれいにするために、政治家や候補者ばかりでなく、有権者ひとりひとりの理解と自覚により、日頃から「きれいな選挙」に心がけましょう。

(富山県選挙管理委員会)
(富山県明るい選挙推進協議会)

活力ある富山県づくりをめぐって

57.11
58.10



置県百年を記念して県庁前公園に造られた花時計

昭和五十八年は富山県が誕生してちょうど百年目にあたる意義深い年でした。この一年をふりかえってみると、置県百年を記念するいろいろな行事が行われるとともに、新しい県づくりの指針ともいえるべき県民総合計画が策定されました。この一年のあゆみを写真を中心に紹介してみましよう。



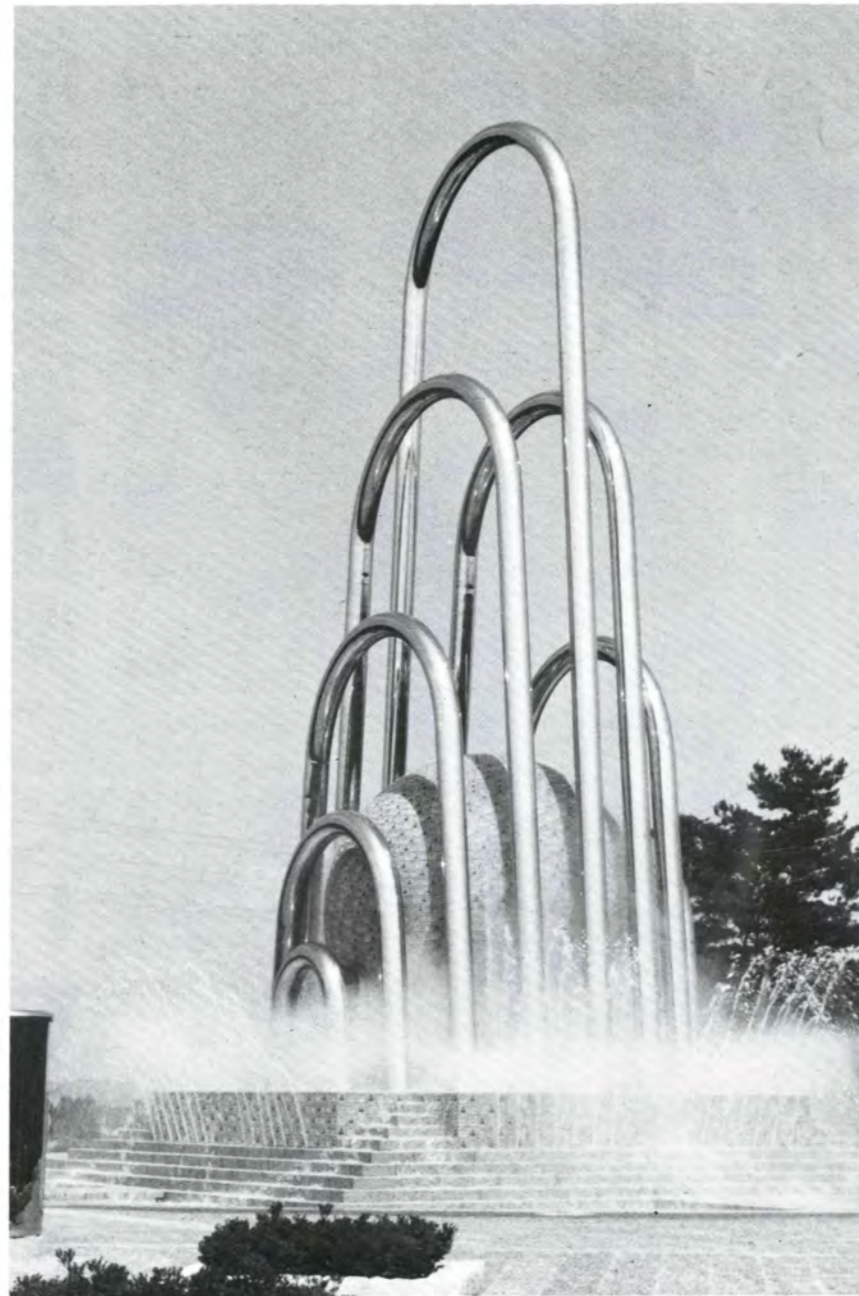
新しい県づくりの指針となる富山県民総合計画書とパンフレット



置県百年を記念して制作された富山県賛歌「きみと歌おう想いをこめて」、「あなたが愛する町だから」、「ふるさと富山」



郷土の発展と未来の幸福を願ってタイムカプセル埋設



置県百年のモニュメントとして設けられた「百年の泉」
(前田常作氏デザイン)



県内の全世帯に配布された置県百年記念誌をはじめとする多くの記念出版が行われました。



山田洋次氏監修による置県百年記念映画「風と心と」

ふるさと第二世紀を祝う記念事業

私たちのふるさと富山県は今年、置県百年を迎えました。県民のみなさんが心をこめて置県百年を祝い、楽しめるものとするために県内各界各層の皆さんの参加を願って、「富山県置県百年記念事業推進県民会議」を設け、県民総参加による記念事業を推進してきました。



8,125 呎の高峰ナンガパルバットを日本人として初めて征服した富山県山岳連盟登山隊 (北日本新聞社提供)



全国から約2,700人の選手とオーストラリアの招待選手10人が参加し、熱戦を展開した全国ジュニアオリンピック



世界12カ国15劇団が参加し、多彩な舞台を繰り広げた「国際アマチュア演劇祭」

国際感覚と国際理解を高めるために開催された国際交流展



富山県置県100年記念 婦人と青少年の国際交流のつどい意見交換会全体会 テマ「これからの世界と日本」



▼「育てる緑に明るい未来」をテーマに、大山町本宮の立山山麓家族旅行村で開催された第7回全国育樹祭

▲先人の努力と英知をしのぶとともに、新しい時代への限らない発展を願って行われた置県百年記念式典



日本を代表する作家101人による富山を題材とした作品が展示された「富山を描く—百人百景」展



県内の曳山が一堂にそろう、けんらん豪華な姿を披露した「いきいき富山大曳山まつり」



100年の富山のおゆみを回顧し、先人の努力のあとをしのび、新しい世紀への出発点としようとして開かれた「富山のおゆみ展」



▶いきいき富山観光キャンペーンのオープニングセレモニーとして行われた「立山御神火リレー」

▶「新世紀への旅立ち」をメインテーマに七月二十六日から二カ月間にわたって開催された「つぼん新世紀博覧会」には百十三万人が会場



置県百年を記念して開かれた高齢者ゲートボール大会では老人のみなさんが大ハッスル



建設すすむ総合体育センター大体育館



地域ぐるみでふれあいに満ちた福祉サービス



芸術文化事業を積極的に推進



青年の国際的視野を広めるため青年の翼を南米に派遣(写真はホームステイで移住当時の苦労に耳を傾ける団員たち)



▲水橋、呉羽、福岡の新設3校が開校



▲高岡短期大学が開学し、61年4月の学生受け入れに向けて始動



▲水と緑にかこまれ、県民のみなさんの憩いの場として小杉町に完成した「県民公園太閤山ランド」



◀富山新港工業地帯の西側に造成されていた県民公園新港の森も完成

新しい県づくり

明日を拓く人づくり

新しい世紀に船出する新しい富山県づくりの基本となる目標は、「活力にあふれ、発展する富山 温かい心に満ちた美しいふるさと」とともに生きること喜びと誇りを感じる富山」の実現にあります。

この目標の下に、明日を拓く人づくり、魅力ある郷土づくり、活力ある産業づくりの三つが政策の柱となっています。

明日のふるさとづくりは、人を大切にするところから始まります。

◇健康づくりと福祉の充実をめざして

自分の健康は自分でつくるのが大事です。そのためスポーツ施設の整備を進めるとともに、地域ぐるみで温かい福祉社会をつくるため、在宅福祉を中心に老人福祉や障害者福祉の充実に努めています。

◇開かれた学習社会とふるさとの文化づくり

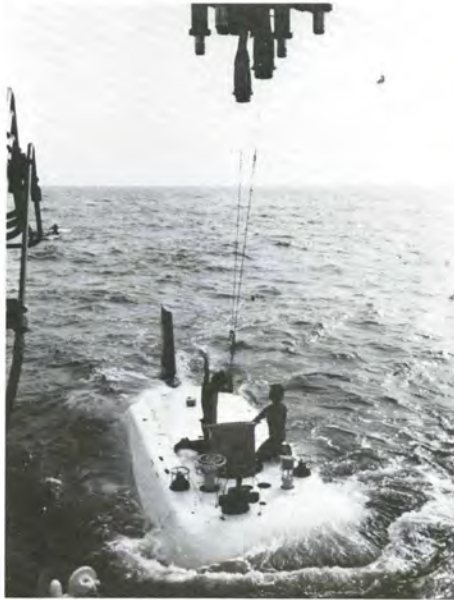
県民のみなさんすべてが生涯

◇若者の力と婦人の活躍を期待して

若者の創意と自主性によるふるさとづくり運動を展開していきます。また、婦人が社会のあらゆる分野へいきいきと参加し、豊かな能力を十分発揮できるよう働く婦人の福祉の向上や生涯学習の場の拡充などに努めています。

◇若者の力と婦人の活躍を期待して

若者の創意と自主性によるふるさとづくり運動を展開していきます。また、婦人が社会のあらゆる分野へいきいきと参加し、豊かな能力を十分発揮できるよう働く婦人の福祉の向上や生涯学習の場の拡充などに努めています。



富山湾を調査する「しんかい2000」



富山新港東部埋立工事を視察する中沖知事



高岡交通管制センターの運用を開始



サンパウロ州と姉妹縁組締結の確認をする長島副知事(サンパウロ州政府)



小矢部川流域下水道浄化センターの工事の安全を願って刈り初めの儀を行う中沖知事



多発するサラ金問題に対応するため消費者金融相談コーナーを設置



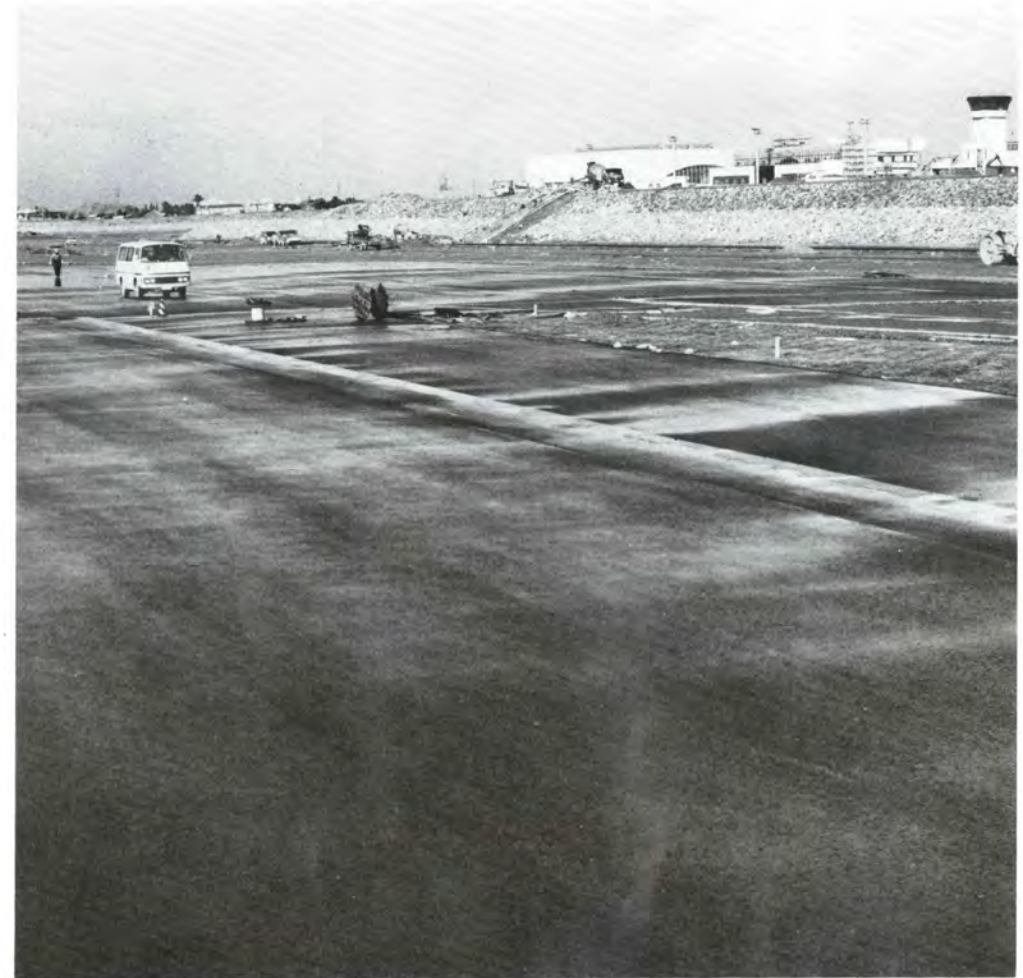
北陸新幹線着工準備富山作業所が開設



日本一の花と緑の県をめざして、県内各地で花と緑いっぱい運動を展開



12月13日に滑川～朝日間が開通する北陸自動車道



来年3月のジェット機就航に向けて拡張工事が進む富山空港

魅力ある郷土づくり

快適なふるさとづくりは、新しい県民生活の基礎づくりです。◇明るく快適な暮らしと地域づくり

県民の生命、財産を守り、暮らしの安全を図ることは郷土づくりの基本です。防災防犯対策や消費者対策をはじめ、花と緑に囲まれた快適な環境づくりを進めています。

また、个性的で魅力にあふれるすばらしいまちづくりを展開し、雪に強いまちづくりについても総合雪対策研究会を設置し積極的に取り組んでいることは全国から注目されています。

◇上下水道の整備
美しい自然を大切に守り、その中に生きる県民の生活基盤を充実させるため、清浄で適正な価格の飲料水を安定的に供給するとともに、下水道については、地域の実情にあった合理的な方法で整備を進めています。

◇北陸新幹線の工事着工へ向け
そのための、友好県省(州)の推進や青年、婦人の国際交流をはじめスポーツ、文化の親善事業を進めています。

三大都市圏との時間的距離を短縮する高速交通網の整備が大きな課題です。

北陸新幹線については、十月二十日工事着工へ向けてのステップとして工事着工準備作業所が開設されました。

また、北陸自動車道の整備も進み、滑川～朝日間が十二月十三日に開通します。

富山空港もジェット化に向けてその拡張工事が進められています。

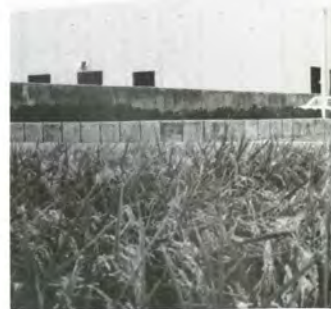
◇国際交流で世界に目を
あらゆる面で国際化が進む現在、国際交流を深め、経済、社会、文化などさまざまな分野で広い視野をもった人材の育成や情報の収集、分析が強化されなければなりません。



繁殖牛の導入と里山の活用などによって、県内に育ちつつある「富山の肉牛」



少年海洋教室で標識をつけた魚を放流する少年たち



農林水産物の付加価値を高め、地場の技術水準の向上をめざす食品研究所



食品産業所



県内初の大規模内陸型工業団地として分譲を開始した富山八尾中核工業団地



「いい人いい味いきいき富山」をキャッチフレーズに全国的な観光キャンペーンを展開



地域特産物の生産振興を図る特産の里が県内各地に根づいています



物流の拠点となる小杉流通センターも分譲を開始



県西部地区の地場産業の中核的拠点として完成した高岡地域地場産業センター



パートタイマーの増加に対応して、パート雇用センターを設置



富山、黒部両高等技能学校に全国で初めてマシニング・センターが導入



日本海側随一の大展示場をもち、国際レベルのイベントにも利用できる富山産業展示館

活力ある産業づくり

豊かなふるさとづくりは、活力あふれる産業によって実現されます。

産業の長所を生かし、地域ぐるみの共同の力でたくましい農業、林業、水産業を確立しなければなりません。

◇テクノポリスの建設へ

高い技術力をもった産業と大学などの学術研究機能、すぐれた都市機能、良好な居住環境などが有機的に結びついた富山テクノポリスの建設を進めています。そこでは、ロボットなどのメカトロニクス産業、セラミックスなどの新素材産業、医薬品を中心としたバイオインダストリー（生命科学産業）などの新しい産業に支えられた「小さな世界都市」をめざしています。

第三次産業は魅力ある地域づくりや県民生活の向上と雇用の安定に大きな役割を果しています。

◇新しいニーズにこたえる第三次産業を

「まちの顔」としての商店街づくりや経営基盤の強化を図らなければなりません。

また、富山県は雄大な自然、新鮮な味覚、郷土色豊かな文化など多様で質の高い観光資源に恵まれています。これらを十分に生かしながら積極的な観光施策に取り組んでいます。

◇新しい地域ぐるみの農林水産業の振興

高い技術水準や整備のゆきとどいた農地など、本県の農林水

ちょっとした工夫で 快適な冬を

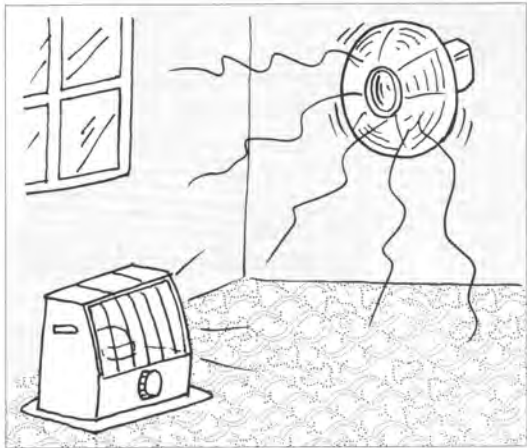
日に日に寒くなり、みなさんの家庭でもストーブやこたつなどの暖房器具が活躍していることと思いますが、ちょっとした工夫でこれらの暖房効果をあげることができます。

この冬は、暖房効率をよくするための工夫をして、快適な冬を送りましょう。

上下の温度差を少なく

一般に「頭寒足熱、がよい」と言われていますが、空気を暖めると暖くなった空気は上の方にあがり、冷えた空気が下がってきて「頭熱足寒」となってしまいます。

これでは暖房の効率、省エネという点から考えもよいとは言えません。扇風機を利用するなどして、空気のかくはんにも努めましょう。



暖房器具は窓側に

暖房器具を窓から離れたところに置くと、窓側はいつも温度が低く、暖房器周辺の空気は暖められて

上昇するために、窓側の冷たい空気が流れ込んで部屋全体の温度差が大きくなってしまいます。

暖房器具は、窓側に置くよう努めましょう。



カーテンはひだをたっぷり

木造住宅の場合、熱が窓から逃げていく割合は10%余りといわれています。カーテンを吊るとある程度、熱の放出を防ぐことができますが、その場合、ひだをたっぷり取るとひだの間に熱の層ができて保温効果があります。

太陽熱の利用を

1㎡四方の窓ガラスから入る熱量は500Wの電熱器に相当するといわれています。

窓ガラスはよくみがいて太陽熱を取り入れ、日没とともに雨戸やカーテンを閉めて室内の温度を逃がさないようにしましょう。

昭和57年11月から58年10月までの県の主な行事等抜すい

年月日	行 事	月 日	行 事
57 年			
11月	1 遼寧省幹部表敬	10	第13回富山県青年海外派遣解団式
	1 県民会館「金岡邸」開館	11	第38回県展開催
	2 県政功労者、文化功労者表彰式	21	ブラジル大使夫妻表敬
	4 知事と語るつどい・まちまわり(福野町)	22	ブラジル展開催
	6 昭和57年秋の叙勲伝達式	23	富山県民総合計画に関する報告会
	9 第12回富山県青年海外派遣団(農業部門)解団式	29	6月定例県議会
	16 外国人記者富山県内工業団地視察	7月	1 第1回富山県文化的環境づくり委員会
	25 第35回富山県農協大会		5 衆議院運輸委員会陳情
			10 県民公園新港の森竣工式
	12月	6 富山県林業大会	15 県民公園太閤山ランド開園式
		9 富山新港東部埋立事業に伴う漁業補償覚書調印式	16 にっぽん新世紀博覧会開幕
24 総合雪対策研究会第2次中間報告		24 置県百年記念第36回県民体育大会	
58 年			
1月	11 第7回全国育樹祭富山県実行委員会	29	知事と語るつどい・まちまわり(氷見市)
	25 富山県総合体育センター起工式	30	「しんかい2000」寄港
	25 富山空港ターミナルビル起工式	8月	1 総合開発審議会
	26 生涯教育推進協議会		4 知事と語るつどい・まちまわり(宇奈月町)
2月	16 第38回冬季国体スキー競技会県選手団結団壮行式	6 利賀フェスティバル'83開幕	
	19 第1回富山県表彰審査委員会	20 置県百年記念「消防祭」	
	24 2月定例県議会	25 知事と語るつどい・まちまわり(福光町)	
		28 タイムカプセル埋没	
3月	1 県立砺波養護学校校旗伝達式	31 高岡短期大学協会設立総会	
	16 富山県米作改良選賞、富山県農業選賞表彰式	9月	5 テクノポリスシンポジウム
	16 農業者と知事を囲む懇談会		6 総合防災訓練
	18 富山新港東部埋立事業起工式	7 第38回国民体育大会夏季大会結団式	
	24 東海北陸自動車道砺波・福光間路線発表	7 富山産業展示館竣工	
	25 高岡交通管制センター点灯式	8 食品研究所竣工	
	26 日展富山展開会	12月	12 いきいき富山観光キャンペーン実施協議会総会
	28 主要地方道朝日・宇奈月線宇奈月トンネル建設工事修祓式		14 知事と語るつどい・まちまわり(大山町)
	30 砺波山田川治水ダム用地補償協定書調印式		23 国際アマチュア演劇祭
	4月	1 置県百年記念「花時計」完成	10月
5 にっぽん新世紀博覧会起工式		2 皇太子ご夫妻ご来県	
7 新設三校開校		3 第7回全国育樹祭	
13 富山県県土美化推進県民会議結成大会		6 富山八尾中核工業団地分譲開始	
19 「富山を描く百人百景展」開幕		7 北陸新幹線対策連絡協議会	
20 知事と語るつどい・まちまわり(朝日町)		8 北陸新幹線着工促進富山県民協議会設立総会	
22 「21世紀の森」開園		9 南米訪問団結団壮行式	
25 いきいき富山観光キャンペーン開始		11 福光警察署竣工式	
26 高岡地域地場産業センター竣工式		12 第38回秋季国体結団壮行式	
28 第34回県植樹祭		20 遼寧省訪問富山県友好代表団結団式	
5月	7 置県百年記念「富山のあゆみ展」開会	22 国際シンポジウム「美術館明日へのビジョン」	
	7 花と緑の大会	22 婦人と青少年の国際交流のつどい	
	9 置県百年記念式典、遼寧省長表敬	22 北陸新幹線着工準備作業所開設祝賀会	
	15 第13回富山県青年海外派遣団結団式	24 知事と語るつどい・まちまわり(新湊市)	
	16 県政モニター会議	26 1日所長	
	17 第3回富山県婦人海外派遣団結団式	27 小矢部川流域下水道事業起工式	
	18 テクノポリス推進協議会	28 小杉流通センター分譲開始	
	21 置県百年記念「県民のひろば」	29 県内一周駅伝競走大会	
	25 在日外国商工会議所視察団来県		
	26 第13回富山県青年海外派遣団、第3回富山県婦人海外派遣団合同壮行式		

10月21日～10月25日

「婦人と青少年の国際交流のつどい」開催

「婦人と青少年の国際交流のつどい」が富山市の県民会館を中心に行われました。

このつどいは、県民の国際感覚と国際理解を高めるために開催されたもので、日本在住の外国人との意見交換会、ホームステイ、国際交流展などさまざまな行事や催しが行われました。



多くの人でにぎわう「国際交流展」

10月22日

わが国初の美術国際シンポジウム

国際的な視野にたって新時代に対応する美術館活動のあり方を話し合う国際シンポジウム「美術館・明日へのビジョン」が県立近代美術館で開催されました。

内外の一流美術研究者が出席するわが国初の国際シンポジウムとあって、全国から美術関係者ら約130人が参加。今日の美術館が抱える問題について討議されました。



今日の美術館が抱える問題について活発な意見交換が行われた国際シンポジウム

10月22日

北陸新幹線着工準備作業所開所祝賀式開く

10月20日に開設された富山、金沢、長野の北陸新幹線着工準備作業所の開設を祝う開所祝賀式が富山市の名鉄トヤマホテルで開催されました。

祝賀式には、沿線10都県の関係者や福田衆議長らの来賓が出席。北陸新幹線の作業所のスタートを祝うとともに、早期着工へ向けて一層努力することを誓いました。

10月24日

新湊市で知事と語るつどい・まちまわり

知事と語るつどい・まちまわりが、新湊市で行われ、水島ガキの栽培状況や富山新港共同火力発電所の石炭転換工事の進捗状況、富山新港東部埋め立て地などを視察しました。

また、語るつどいでは、新湊市福祉会館に約400人の住民のみなさんが参加し、知事に対して多くの質問が出されました。

10月26日

観光研修バスがスタート

いきいき富山観光研修バス教室がスタートし、観光業関係者が参加。観光の知識やサービスの心構えなどを学びました。

このバス教室は、県内の観光業関係者が県内の代表的な観光地や施設を現地研修することによって、知識と理解を深めていただくとともに、観光客に対するサービスの向上を図っていただこうと企画されたものです。

10月26日

県の出先機関で「一日所長」

県民のみなさんに直接県政に参加していただき、県政に対する理解を深めてもらおうと県の30出先機関で一日所長が行われました。(1～5参照)

10月27日

小矢部川流域下水道浄化センター起工式

県営小矢部川流域下水道浄化センターの起工式は、高岡市二上公民館で、中沖知事に関係者140人が出席して行われました。

浄化センターの着工によって、昭和62年度に一部供用開始予定の大型

北陸新幹線着工準備作業所開所祝賀式



多くの関係者が出席して開催された北陸新幹線着工準備作業所開所祝賀式

小杉流通業務団地分譲開始祝賀式



小杉流通センターの分譲開始祝賀式でテープカットする関係者



小矢部川流域下水道浄化センター起工式であいさつする中沖知事



北陸新幹線の小杉～高岡間の環境アセスメント案を受け取る中沖知事

プロジェクトがスタートすることになりました。

10月28日・11月15日

小杉流通センター 第1期分譲開始

小杉流通センターの第1期分譲が始まり、団地内で分譲開始祝賀式が行われました。

第1期分譲面積は御売施設用地10.6%、区域トラック施設用地1.9%の計12.5%。分譲価格は1平方メートルあたり2万2千円。

11月15日から始まった申し込み受付には、5社から申し込みがありました。

10月29日～10月30日

県内一周駅伝競走大会開幕

置県百年記念県内一周駅伝競走大会が開かれ、各選挙が勝利に向けて、秋の越中道を快走しました。(表3参照)

11月2日

県政功労者らを表彰

昭和58年度の富山県県政功労者(50人、11団体)、文化功労者(4人、2団体)、教育功労者(30人、14団体)の表彰式が県庁で行われ、中沖知事らから表彰状と記念品が贈られ、それぞれの分野での多年にわたる業績

をたたえました。

11月8日

北陸新幹線の小杉～高岡間環境アセスメント案公表

日本鉄道建設公団富山新幹線建設準備事務所(柴垣寛所長)は、北陸新幹線県内ルートのうち未決定だった小杉～高岡間を結ぶ約17kmの環境影響評価(アセスメント)報告書案を中沖知事に提出しました。

この報告書案は、11月12日から1ヵ月間住民のみなさんに縦覧、19日に高岡市問屋センターで説明会が開かれました。

秋の越中路に繰り広げられた 駅伝ドラマ

「さあ走ろう、タスキで結ぶまちと村」をテーマに、置県百年記念県内一周駅伝競走大会が10月29日、30日の2日間にわたり開催されました。

29日午前9時に県庁前をスタートとした16郡市代表の選手たちは、県下28市町村を1周する 275.4km、78

区間のコースで、駅伝ドラマを繰り広げました。この模様を写真で紹介してみましょう。



沿道の支援をうけながら、秋の越中路を快走



中沖知事の号砲で選手たちが一斉にスタート



多くの声援の中ゴールイン



「あとはお願い」とタスキを手渡す

今月の置県百年記念行事

●12/6～12/8 第31回近畿東海北陸
連合肉牛共進会
場所 富山県運転教育センター空地

●12/21～1/5 富山県高等学校生徒
海外派遣
場所 イギリス、イタリア、フランス

お知らせ

●北陸新幹線の環境アセスメント案縦覧中

北陸新幹線の環境影響評価（アセスメント）のため、日本鉄道建設公団で小杉～高岡間の環境影響評価報告書案が作成され、次のとおり縦覧が行われています。

○期間 昭和58年12月12日まで（日曜、祝日を除く）
○場所 日本鉄道建設公団富山新幹線建設準備事務所、富山県庁、高岡市役所、小杉町役場、大島町役場、大門町役場

○時間 午前9時から午後5時まで（ただし、土曜日は正午まで）

なお、関係市町の住民のみなさんは、富山県知事に対して環境影響評価報告書案について環境保全の見地からの意見を述べる事ができます。意見は、住所、氏名、提出年月日を記載した書面により、昭和58年12月26日までに、関係の市、町に提出してください。

●県営住宅の入居者募集

県では、既存県営住宅の空室に係る補欠入居者を常時、募集しています。

一部の団地を除いて、今、比較的空いており、入居しやすい現状です。なかでも新湊市の海老江、堀岡の2団地は直ちに入居することができます。

申し込みの方法・入居資格・家賃など詳しいことは、富山県住宅供給公社へお問い合わせください。
☎ 0764-32-5131

12月の街頭献血日程

月日曜	場所	時間	月日曜	場所	時間
12/6(火)	立山町役場前	10:00～15:30	12/24(土)	高岡駅前	10:00～15:30
10(土)	富山駅前	10:00～16:00	25(日)	高岡駅前	10:00～15:30
10(土)	高岡駅前	10:00～15:30	27(火)	富山駅前	10:00～16:00
11(日)	富山西武デパート前	10:00～16:00	27(火)	高岡駅前	10:00～15:30
17(土)	魚津サンプラザ前	10:00～15:30	28(水)	富山駅前	10:00～15:30
17(土)	富山駅前	10:00～16:00	28(水)	高岡駅前	10:00～15:00
24(土)	富山駅前	10:00～16:00	30(金)	富山駅前	10:00～15:00

県政についてのご相談は県民相談室へ

県民相談室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎富山31-4111(代) 31-3131(県民電話)
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎高岡21-9411
魚津地方県民相談室	魚津新宿10-7(総合庁舎内) ☎魚津24-5311
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎砺波33-5151

お茶の間にお届けします県広報

広報課では、この「県広報とやま」のほか、テレビ、新聞などの媒体を活用して、県の施策の紹介や暮らしに欠かせない情報を提供しています。

テレビ広報

KNB「こんにちは富山県です」

県政の諸施策、問題点を、みなさんに知っていただくための番組です。また、今年度は、置県100年特別企画をシリーズで行います。

毎週日曜日、午前8時～8時30分

12月のKNB「こんにちは富山県です」

4日	世界へ向かうとやまの文化
11日	無雪害の町づくり
18日	滑川～朝日間が開通 北陸自動車道
25日	知事に聞く 一置県百年をふり返って一

富山テレビ「110万人のひろば —クイズ! フォーカスイン—」

県内のいろいろな話題、さまざまな施設、みなさんの関心事などを、クイズ形式で楽しく紹介する、ふるさと再発見番組です。

毎週日曜日、午前9時～9時30分

新聞広報

県の主な施策や事業を紹介し、当面する課題をみなさんと一緒に考えるとともに、生活情報を提供します。

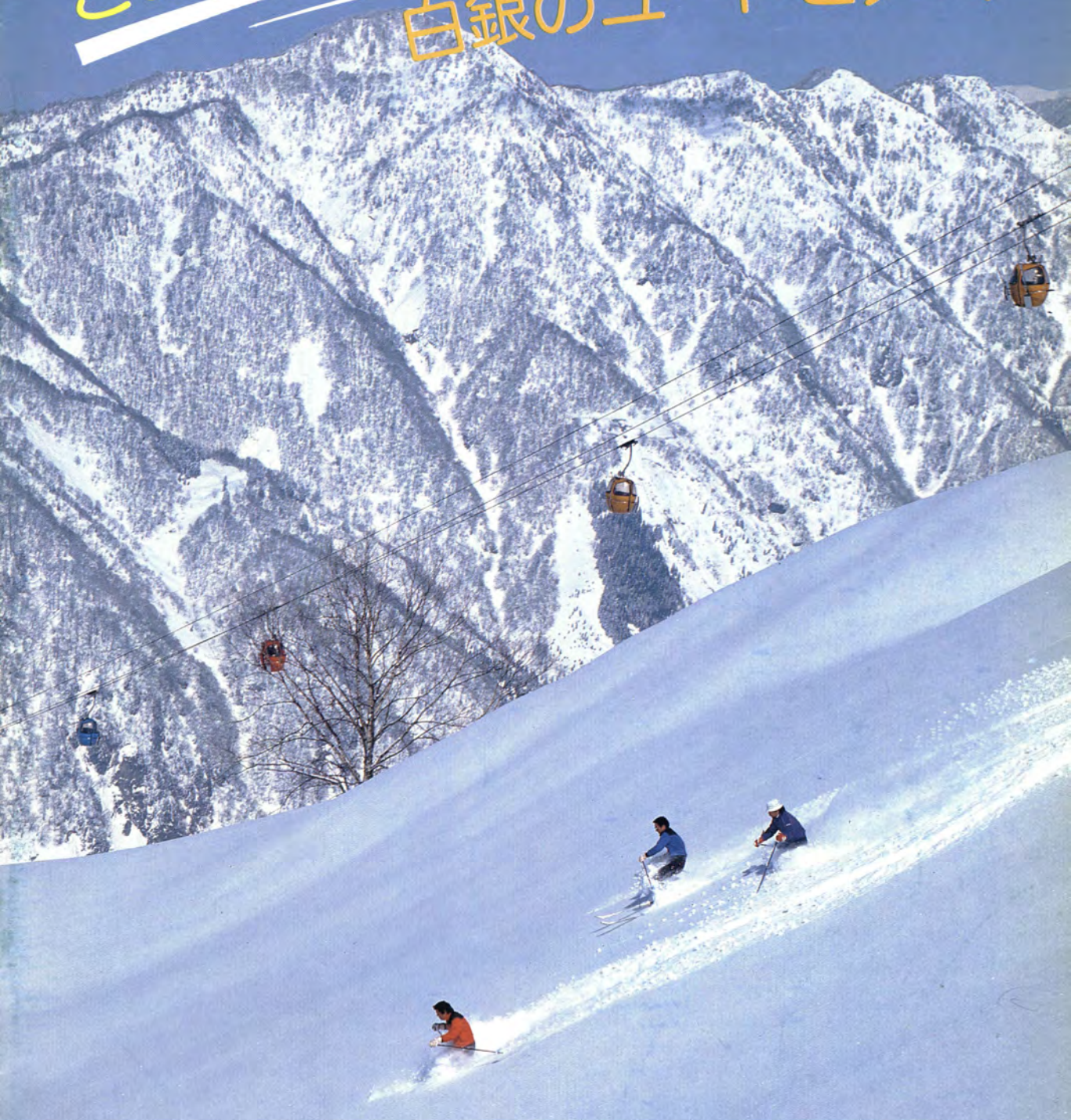
○北日本、富山、読売、北陸中日
毎月第2土曜日「県からのお知らせ」

毎月最終土曜日「みんなの県政」

○朝日、毎日
毎月第2・最終土曜日「県からのお知らせ」

この冬、

白銀のユートピアへ



立山山麓
県 営

ゴンドラスキー場